2026年度
秋田公立美術大学大学院
複合芸術研究科

入 学 試 験 問 題

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

グループ・ディスカッション
修士課程一般選抜（第１期募集）

「テーマ」

このグループ・ディスカッションで、１億円（約 65 万 USD、約 475 万人民元）の資金を一つのプロジェクトのために自由に使用できることとします。

議論を通して、最も意義があると思える活用方法を見出し、それにより得られる効果も含めて提案してください。

ただし、「１億円の活用方法」は、以下の条件に従い構想されることとします。

・ グループで１つの提案をつくること
・ グループのメンバーそれぞれの専門領域の観点を含めた議論を経ていること
・ “Transdisciplinary（※）”の概念が反映されていること
・ 創造性と公益性のいずれも保ちながら、高い実現可能性があること

「１億円の活用方法」の提案は、グループのメンバーそれぞれの専門領域の観点から、最後に一人ずつ３分以内で発表してください。

（※）Transdisciplinary

近年の日本では、“Transdisciplinary”の訳語は「超学際」として周知されつつあります。従来の“Interdisciplinary”が「学際」として学術界の内部での異分野協働を意味していたのに対して、「超学際」は学術界を超えて実社会の様々なステークホルダー（政府、企業、民間団体、市民、実務家など）と協働すること、そして学術的成果に留まらず具体的な社会実践を目指す「新しい知のあり方」を示す概念です。なお、本学「複合芸術研究科」は、英語名称を“Graduate School of Transdisciplinary Arts”としています。

グループ・ディスカッション
修士課程一般選抜（第２期募集）

「テーマ」

世界は大きな転換期を迎えています。これまでの国際秩序は揺らぎ、社会的分断はますます深刻化しています。

このような状況を受けて、あなたがたは秋田の視聴者に向けた討論番組『複合芸術 TV』に出演することになりました。番組のテーマは「これからの芸術はどのような役割を果たすべきか」です。

① グループ・ディスカッション（40 分）

まず、最初の 15 分で、この番組テーマについての「具体的なトピック」を一つ設定し、それにふさわしい「番組サブタイトル」を決定しなさい。次に、残りの 25 分で、それぞれが生放送の番組出演者になったものとして、設定したトピックについて討論しなさい。

② 個人プレゼンテーション（3 分以内）

グループ・ディスカッション後、一人ずつ発表を行います。その際、討論の中で示された自分とは異なる意見を必ず一つ以上取り上げたうえで、これからの芸術が果たすべき役割について、あなた自身の考えを述べなさい。